

第1回 花山・芳山地区保全・利活用部会 議事要旨

日時 : 平成25年3月18日(月) 午前10時00分～12時00分
場所 : 奈良経済倶楽部 大会議室
出席者 : 部会長 田中 和博
委員 花山院 弘匡(代理)、田中 利典(代理)、宮城 俊作
事務局 奈良県土木部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 林野庁奈良森林管理事務所、奈良県農林部林業振興課、
奈良公園管理事務所、奈良県教育委員会文化財保存課

議題 ○花山・芳山地区森林の保全・利活用の考え方について
○檜皮採取試行実験について
○今後の展開と部会の予定について

議事要旨

○花山・芳山地区森林の保全・利活用の考え方について

- ・台風等により風倒被害を受けた箇所は再度被害を受け易い。今後の森づくりをどう考えていくための資料として、風倒被害場所を把握できる図面を作成すべきである。
- ・花山・芳山地区の森林に関する検討のスタート地点として、GISやGPS、レーザー測量等を利用しながら情報のデータベース化に取り組むべきである。そうすることで、今後の検討や情報発信のツールとして活用できる。
- ・檜皮採取可能な年齢に達している箇所であっても、生育不良や管理不足のため、檜皮採取や大径木の育成につながりにくい状況が見受けられる。現地踏査を踏まえ、大径木育成に向け、敵機、適切な管理・育成手法を提案する必要がある。

○檜皮採取試行実験について

- ・檜皮採取試行実験の実施を部会として承認する。
- ・試行実験の成果を踏まえて、花山・芳山地区が県内文化財建造物の檜屋根葺替に必要な檜皮を今後どの程度担うことができるのかを検証すべきである。

○今後の展開と部会の予定について

- ・花山・芳山地区の人工林における県内木造建造物文化財修理に資する取り組みをモデルとして、県内へ提示し取り組みを広めていきたい。
- ・その取り組みを展開していくための実行委員会を部会の下に設置し、県民への理解を深める必要もあることからボランティア等の育成にも取り組む。

○まとめ

- ・花山・芳山地区森林の保全・利活用を検討するためのスタートとして、客観的な情報のデータベース化に取り組む。
- ・檜皮採取試行実験の実施を部会で決議した。その結果を踏まえ、檜皮採取の可能性を検証する。
- ・花山・芳山地区の人工林で、県内における木造建造物・文化財修理に供する資材供給システムづくりをモデルとして、県内公有林・国有林とも連携し全県的な取り組みとして展開する。